

国 語

㊦【解答】問一 イ 問二 ウ 問三 A E B イ 問四 自分の欠点

問五 (1) ア おごる心 イ 失敗しても ウ 甘えがある

(2) (例) 失敗の全責任を自分が背負い、他人に泣き言をいわない（という考え方。）(25字)

問六 日本人

【解説】問一 「やはり」とは、自分が想像していた通りの結果になったことを表すことばである。「やはり百パーセント自分の実力を発揮できず」とあるので、最大限の練習をしたにもかかわらず、実力を発揮できなかったろうと筆者は考えていたのである。

問二 筆者は試験で実力を発揮できなかった。その時に熱心に指導してくださった先生とぼったり会ってしまい、先生に対していただいた思いを をふくむ文全体から考える。

問三 接続語を考える問題では、前後の文を読み解き、二つの文章をつなぐのに最適なことばを考える。A の前の文では「私は～先生に謝ろうとした」と書いてあり、後の文では「おめでとう。あなたはとても良い点をとれましたよ」と私が予期していなかった先生のことばが書かれているので、「ところが」を選ぶ。また、B の前の文では、先生は筆者に対して「おめでとう」と称しょう賛のことばを述べているが、後の文では「自分がへたに弾けてしまったなど」と決して人前でいってはいけません」と、私に対する注意のことばを述べている。B の前後で話の内容が変わっているので、「ところで」を選ぶ。

問四 指示語の問題では、指示語の前後の部分に着目して、指示語が指す内容を考える。ここでは、――線部②の前に「自分の欠点は自分がいちばん良く知っている」とあり、それに続いて「他人に向かってそれをいいふらすことは、何の役にも立ちません」とあるので、自分の欠点を人に言ってはならないということがわかる。

問五 (1) ――線部③の次の文の「それ」は「他人の前で自分を卑下していること」を指しているので、「それ」以降の文から、筆者の考えを読み取る。

(2) 本文の最後の二文に着目する。筆者の日本人の考え方に対する意見とヨーロッパの人々の考え方に対する意見が述べられており、指定語句から後者を参考にして答えをまとめるとよい。

問六 「私たち」は、「ヨーロッパ」と比較した筆者をふくむ表現であるので、筆者がどの国の人であるかを考える。

㊦【解答】問一 大人になるための準備期間

問二 A オ B ア

問三 ㉞ ー ① 半

問四 (1) (例) 交際や結婚ができる (9字)

(2) (例) そこそこの収入が得られる (12字)

(3) (例) 何らかの技術を身につける (12字)

問五 (1) 義務や責任 (責任や義務) (2) 自由

【解説】問一 ――線部①をふくむ一文全体で考える。ここでは直後で「モラトリアム」について「社会的な責任や義務を免除された形で若者がさまざまな役割実験を試みる準備期間をさす」と説明されている。これと同じ意味の内容を表すことばを、⑤～⑨段落の中からさがす。

問二 接続語を考える問題では、前後の文を読み解き、二つの文章をつなぐのに最適なことばを考える。A は、直前の②段落の内容を、直後で「古典的なモラトリウム期間」と簡潔に言いかえているので「つまり」が入る。B は、「古典的なモラトリウム期間」について「何とも～不自由な時期」と述べ、直後で「若者は～と思った」と、前に述べたことの当然の結果を述べているので「だから」が入る。

問三 にことばを入れる問題は、前後の文脈から判断する。㉞は、「フロイト」について、「㉞ 人前の医師にならなければ結婚を許されないという厳しい時代」とあり、古典的なモラトリウム期間に求められたことの例であるから、「一人前」となる。㉟は、「㉟ 人前でも厳しい禁欲を強いられるわけではなく」とあり、現代的モラトリウムの状況を述べているので、「半人前」となる。

問四 「そんな不自由な制約」とは、古典的モラトリウム期間にあったような制約である。その制約については、②～④段落について述べてあるので、まずその制約をつかみ、今の時代にそのような不自由な制約がないことについて、⑥～⑧段落のことばを使ってそれぞれまとめる。

(1) ⑥段落では、定職に就かなくても交際や結婚ができることが述べてある。古典的モラトリウムでは、異性との交際もままならず、一人前にならないと結婚もできなかったのである。

(2) ⑦段落では、定職に就けなくてもそこそこの収入が得られることが述べてある。古典的モラトリウムでは、まともな収入は得られなかったのである。

(3) ⑧段落では、技術革新のため、修業感覚で何らかの技術を身につける必要性がないことが述べられている。古典的モラトリウムでは、禁欲と修業が求められていたのである。

問五 ――線部③をふくむ一文全体で考える。ここでは直前に「そうであれば」とあるので、直前の内容が、モラトリウムを抜け出したくない若者が多くなる理由となっていることがわかる。

㊦【解答】(1) ア 図 (る) イ 測 (る) (2) ア 経 (る) イ 減 (る)

(3) ア 快方 イ 開放 (4) ア 高低 イ 校庭

(5) ア 対照 イ 対象

【解説】同音・同訓異字はその漢字の意味を正しく押さえた上で覚えること。

(1) 「図る」＝工夫する。「測る」＝長短を知る。

(2) 「経る」＝時がたつ。「減る」＝数や量が少なくなる。

(3) 「快方」＝病気がよくなっていくこと。「開放」＝あけはなすこと。

(4) 「高低」＝高いことと低いこと。「校庭」＝学校の広場。

(5) 「対照」＝二つのものの違いがはつきりすること。「対象」＝目標。相手。

四 【解答】 (1) は (える) (2) こだち (3) したく (4) こうちよう

(5) しょうこう (6) 至急 (7) 拳 (げん) (8) 賛成

(9) 祭典 (10) 記録

算 数

□1 【解答】 (1) 55 (2) $0.36\left(\frac{9}{25}\right)$ (3) 123 (4) 60 (m) (5) 18 (枚)

(6) 10 (個) (7) 180

【解説】 (3) 和差算を用いて、 $(157+89)\div 2=123$

(4) 間の数＝木の数－1＝16－1＝15より

$4\times 15=60\text{ (m)}$

(5) つるかめ算で求める。

$(10\times 24-150)\div (10-5)=90\div 5=18\text{ (枚)}$

(6) $48=1\times 48=2\times 24=3\times 16=4\times 12=6\times 8$ より

1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 16, 24, 48 の10 (個)

(7) 連除法で $2\overline{)20}\ 36\quad 2\times 2\times 5\times 9=180$

$2\overline{)10}\ 18\quad 5\ 9$

□2 【解答】 (1) $\frac{1}{3}$ (2) 28 (3) 4 (個) (4) $\frac{1}{3}$ (5) $\frac{11}{24}$

(6) $\frac{4}{9}$ (7) $\frac{3}{4}$ (0.75) (L)

【解説】 (1) 分母分子を16で割って、 $\frac{1}{3}$

(2) 分子が4倍 ($16\div 4=4$) なので、 $7\times 4=28$

(3) $\frac{5}{8}=\frac{15}{24}$ 、 $\frac{5}{6}=\frac{20}{24}$ より、 $\frac{16}{24}$ 、 $\frac{17}{24}$ 、 $\frac{18}{24}$ 、 $\frac{19}{24}$ の4 (個)

(4) 帯分数は、仮分数に直して計算する。

$\frac{2}{4}\div 4\times \frac{1}{2}\times \frac{2}{3}=\frac{9}{4}\div \frac{9}{2}\times \frac{2}{3}=\frac{9\times 2\times 2}{4\times 9\times 3}=\frac{1}{3}$

(5) $\frac{7}{8}-\frac{2}{3}+\frac{1}{4}=\frac{21}{24}-\frac{16}{24}+\frac{6}{24}=\frac{11}{24}$

(6) $\frac{1}{15}\div \left(3\frac{4}{5}-\frac{1}{2}\right)=\frac{22}{15}\div \left(3\frac{8}{10}-\frac{5}{10}\right)$

$=\frac{22}{15}\div 3\times \frac{3}{10}=\frac{22}{15}\times \frac{10}{3}=\frac{4}{9}$

(7) $\frac{1}{6}-\frac{1}{3}-\frac{3}{4}=\frac{22}{12}-\frac{4}{12}-\frac{9}{12}=\frac{9}{12}=\frac{3}{4}$ (L)

□3 【解答】 (1) 95 (2) 10 (番目) (3) 1660 (4) 1350

【解説】 (1) はじめの数が7で、8ずつ増える等差数列なので、

$7+8\times (12-1)=95$

(2) $(79-7)\div 8=9$ 、 $9+1=10$ より 10 (番目)

(3) 20番目の数は、 $7+8\times (20-1)=159$ なので、 $(7+159)\times 20\div 2=1660$

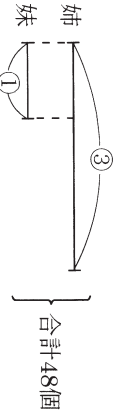
(4) 143は、 $(143-7)\div 8=17$ 、 $17+1=18$ 番目

$(7+143)\times 18\div 2=150\times 18\div 2=1350$

□4 【解答】 (1) 36 (個) (2) 68

【解説】 (1) $48\div (3+1)=12$ (個) …姉

$12\times 3=36$ (個) …姉



(2) $(89-5)\div (3+1)=21$

$21\times 3+5=68$ …Aの整数



□5 【解答】 (1) 40 (cm) (2) 134 (cm)

【解説】 (1) 右図より $10+30=40$ (cm)

(2) 線分図で、長女と三女の差の部分に注目。

$(10+30+16)\div (3-1)=56\div 2=28$ (cm) …三女

次女は、 $28+10=38$ (cm)。

長女は、 $28\times 3-16=68$ (cm)

よって、はじめの長さは、 $28+38+68=134$ (cm)

□6 【解答】 (1) $\frac{98}{99}$ (2) 51 (番目) (3) 87 (番目)

【解説】 (1) 小さい順にならべると

$\frac{1}{10}, \frac{3}{10}, \frac{7}{10}, \dots, \frac{9}{10}$
 $\frac{1}{11}, \frac{2}{11}, \frac{3}{11}, \dots, \frac{10}{11}$
 $\dots$
 $\frac{1}{98}, \frac{3}{98}, \dots, \frac{97}{98}$
 $\frac{1}{99}, \frac{2}{99}, \dots, \frac{98}{99}$

よって、 $\frac{98}{99}$

(2) $\frac{1}{99}, \frac{1}{98}, \dots, \frac{1}{50}, \left| \frac{2}{99} \right.$
~~~~~  
 $99-50+1=50$ 個

$\frac{2}{99} \overset{\div 2}{=} \frac{1}{49.5} > \frac{1}{50}$

$50+1=51$  (番目)

(3)  $\frac{1}{99}, \frac{1}{98}, \dots, \frac{1}{50}, \left| \frac{2}{99}, \frac{2}{97}, \frac{2}{49}, \frac{2}{48}, \frac{2}{95}, \frac{2}{47}, \dots, \frac{2}{67}, \frac{2}{33}, \frac{3}{98}, \frac{2}{65}, \frac{3}{97} \right.$   
~~~~~  
50個 $\left(\frac{1}{49.5} \right)$ $(49-33+1) \times 2 = 34$ 個 $\left(\frac{1}{32.5} \right) \left(\frac{1}{32.33\dots} \right)$

$\frac{3}{98} \overset{\div 3}{=} \frac{1}{32.66\dots} > \frac{1}{33}$

よって、 $50+34+3=87$ (番目)

理 科

□1 【解答】 問1 フイラメント 問2 絶縁体 問3 ア, エ (順不同完答)

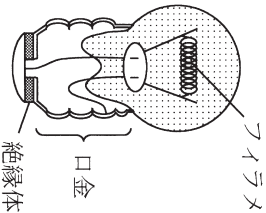
問4 (1) ウ, オ, キ (2) エ, ク (3) ア, オ, カ (各順不同完答)

【解説】 問1 電球の光る部分をフイラメントという。電気を通しにくく熱に強いタンゲステンという金属が使われている。

問2 豆電球の下 (へそ) の部分と横の口金とをへだてるために、電気を通しにくい素材 (絶縁体) を使っている。

問3 豆電球は、右図のようなつくりになっているため、豆電球の絶縁体の下の部分と横の口金が回路になるようにつないだものが光る。

問4 図2の回路の豆電球に流れる電流の大きさを1とすると、アの豆電球は2, イの豆電球は0.5, ウの豆電球は1, オの豆電球は1, カの豆電球は2, キの豆電球は1となる。また、図2の乾電池が



さを1とすると、アの回路の乾電池が出す電流の大きさは2, イの回路の乾電池が出す電流の大きさは0.5, オの回路の乾電池が出す電流の大きさは2, カの回路の乾電池が出す電流の大きさは4, キの回路の乾電池が出す電流の大きさは1になる。エはショート回路, クは乾電池の向きが逆で直列につながっており、豆電球がつかない。

□2 【解答】 問1 食物連鎖 問2 エ 問3 11200 (倍)

【解説】 問1 生物どうしの食べる・食べられるの関係を食物連鎖という。

問2 食物連鎖によって生物の体内に化学物質が濃縮されることを生物濃縮という。

問3 図より植物プランクトン体内のPCBが250倍、マスの体内のPCBが2800000倍であるから、 $2800000 \div 250 = 11200$ (倍) となる。

□3 【解答】 問1 胚乳 問2 ウ 問3 ア・イ (順不同完答)

問4 ア・ウ・エ (順不同完答)

【解説】 問1 単子葉類の種子はすべて胚乳をもつ有胚乳種子である。

問2 イネは発芽に必要な栄養分を胚乳にたくわえている。

問3 子葉が1枚で発芽するのは単子葉類の種子であるトウモロコシとムギである。マツは子葉が多数あり、アズキは子葉が地中に残る。

問4 発芽に必要な条件は「空気」と「水」と「適当な温度」である。この条件をすべて満たしているのは、ア・ウ・エである。イは水が不足しており、オとカは温度が適当でないため発芽しない。

□4 【解答】 問1 (1) 記号：ウ 季節：秋 (2) 記号：イ 季節：春
(3) 記号：オ 季節：冬

問2 イ 問3 エ

【解説】 問1 (1) ツバメは春に南の国から日本に渡ってきて、夏に子育てをし、秋に南の国へ渡っていく。このように春、夏、秋を日本ですごす渡り鳥を夏鳥という。

(2) カマキリは卵のうの中の卵のすがたで冬をこし、春にふ化し、他の昆虫などを食べながら成長する。秋に卵のうにつつまれた卵を産む。

(3) ユキウサギやライチョウは、日の長さが変わると体毛 (羽毛) の色が変わる。

問2 ロゼット葉で冬をこすのはタンボグ、ナズナ、オオバコなどである。ロゼット葉はすべての葉に光が当たるように、1枚1枚が重ならないようになっている。

問3 サルビア、コスモス、ナデジコはおもに夏や秋に花をさかせる。

□5 【解答】 問1 イ 問2 ウ 問3 ウ 問4 化石 (燃料)

問5 リサイクル

【解説】 問1 二酸化炭素やメタンは温室効果ガスともよばれ、地表から宇宙へ放出される熱をにがさない性質をもつ。

問2 フロンなどの使用により、オゾン層が破壊され、オゾンホールが観測されている。オゾンは生物にとつて有害な紫外線を吸収するはたらきがあり、オゾンの濃度がうすくなると、皮ふがんや目の病気が増える。

問3 リンやちっ素が多くふくまれる排水が川や海に流れこみ富栄養化が起こると、プランクトンが異常発生し、赤潮やアオコなどが発生する。

問 4 石油や石炭，天然ガスは動物の死がいやかれた植物などがたい積してできるため，化石燃料とよばれる。

問 5 資源になるものを回収して，再生利用することをリサイクルという。

社会

【1】【解答】問 1 イ 問 2 (1) ア・エ・カ (2) イ・ウ・オ (各順不同各解)
問 3 ウ 問 4 ウ 問 5 イ 問 6 エ

【解説】問 1 山地が国土の約4分の3をしめている。区別して覚えよう。

問 2 イ 吉野すぎ (奈良県)，ウ 天竜すぎ (静岡県)，オ 尾鷲ひのき (三重県)，カ 本曽ひのき (長野県)

問 3 ウ 森林は，土砂くずれやこう水など災害から国土を守るはたらきをしている。

問 4 木材の生産順位は，1位 北海道 2位 宮崎県 3位 岩手県 4位 大分県である。(2023年)

問 6 植林から伐採まで60～80年ほどかかる。

【2】【解答】問 1 ア・ウ・オ (順不同完答)

問 2 (1) ア (2) 太平洋ベルト (3) 愛知 (県)

問 3 シリコンアイランド

問 4 (1) 八幡 (製鉄所) (2) イ 君津市 イ 倉敷市 エ

問 5 貿易摩擦 問 6 ウ 問 7 静岡県 問 8 イ

【解説】問 1 ハルズ・製紙工業は軽工業に分類される。
重化学工業には機械工業，金属工業，化学工業がある。せんい工業，食料品工業，

問 2 (1) 自動車生産の流れは，プレス→よう接→とそう→組み立て→検査，である。

(2) 太平洋ベルトと呼ばれる地域には，京浜工業地帯，中京工業地帯，阪神工業地帯など複数の工業地帯・地域がある。

(3) 愛知県は中京工業地帯にふくまれ，自動車工業を中心とした機械工業がさかんである。

問 3 九州地方はIC工場が多く建てられていることから，アメリカのシリコンバレーという地域になぞらえて，シリコンアイランドとよばれている。

問 4 (1) 八幡製鉄所は明治時代に操業を開始した。

(2) イのウランは原子力発電の燃料として利用される。

(3) 君津市は千葉県，倉敷市は岡山県である。

問 5 日本はかつて，アメリカとの間に貿易摩擦が発生した。

問 6 ア フォインセラミックスは衝撃に強い焼き物で，人工関節などの医りょう機器部品や電子部品などに用いられる。

ウ ポリエステルは合成せんいで，化学工業でつくられるものである。

問 8 南部鉄器は岩手県の金工品である。

【3】【解答】問 1 エ

問 2 (1) (石油化学) コンビナート (2) ナフサ

(3) ① オーストラリア ② サウジアラビア

問 3 長野 (県)

【解説】問 1 北海道は農業・水産業がさかんであることから，食料品工業もさかんになっている。

問 2 日本の石油化学工業は鉄鋼業と同じように，原料を輸入しやすい太平洋ベルトの臨海部に集中している。

問 3 精密機械工業は，大消費地に近い東京都や神奈川県，埼玉県，きれいな空気と水にめぐまれた長野県の諏訪市や岡谷市で生産がさかんである。

【4】【解答】問 1 ① ウ ② イ ③ ア 問 2 ア 問 3 ICT

【解説】問 1 明治時代に新聞，大正時代にラジオ放送，終戦後にテレビ放送がそれぞれはじまった。

問 2 アはスマートフォン，イはタブレット型端末，ウはパソコン，エは固定電話である。

問 3 ICTとは，情報通信技術「インフオメーションアンドコミュニケーションテクノロロジー」の頭文字である。

【5】【解答】問 1 A イ B ウ C ア 問 2 イ 問 3 産業の空洞化

【解説】問 2 イ いっぱんに，大工場が広いしき地をもち，すぐれた設備を備えて機械化され，最新の技術で大量生産しているため，働く人が少なくてもたくさんものをつくることができる。

問 3 産業の空洞化がすすむと，生産力だけでなく，製品をつくる技術も低下するため，将来的には外国企業との競争力が落ち，国力が低下していくことが心配されている。